

2016年12月2日

株式会社 富士経済  
 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町  
 1番5号 PMO日本橋江戸通  
 TEL.03-3664-5811 FAX.03-3661-0165  
<https://www.fuji-keizai.co.jp/>

広報部 03-3664-5697  
<http://www.group.fuji-keizai.co.jp/>

国内外食産業 市場調査(3)

## 外食産業14カテゴリー138業態を総括分析

2016年見込(2015年比)

国内の外食産業市場 33兆2,806億円(0.7%増)

... ファストフード、テイクアウトなどが好調で市場をけん引

市場成長率上位業態

1位:プレミアムハンバーガーは72億円(23.3%増) ... 話題性の高さなどで急成長

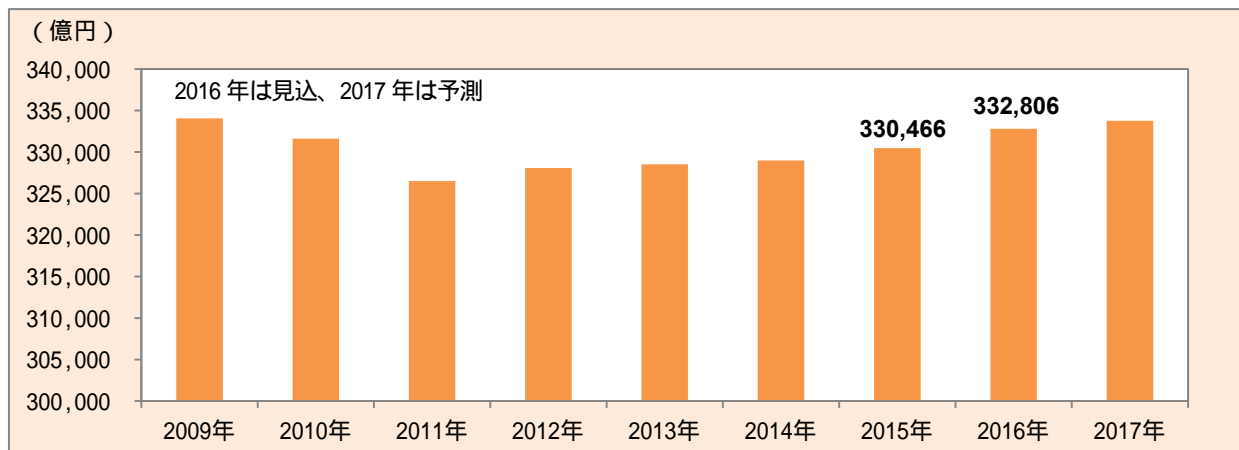
2位:天井・天ぷらは259億円(21.3%増) ... 出店強化や新規需要獲得で市場拡大

総合マーケティングビジネスの株式会社富士経済(東京都中央区日本橋小伝馬町 社長 清口 正夫 03-3664-5811)は、国内の外食産業市場14カテゴリー138業態の総括分析に加えて、注目外食企業の事例研究、海外における外食産業の動向、外食産業エリアマップ、138業態には含まない注目成長市場を調査した。

その調査結果を報告書「外食産業マーケティング便覧 2016 No.3」にまとめた。

### <調査結果の概要>

国内の外食産業市場



2015年の外食産業市場は、調査対象とした14カテゴリーのうち、市場全体に占める構成比がもっとも高いテイクアウトをはじめ交通機関、ファミリーレストラン、喫茶、西洋料理、エスニック料理が前年に続きプラス成長したほか、ホームデリバリー・ケータリング、給食、宿泊宴会場がプラスに転じたことで、2014年比0.5%増の33兆466億円となった。

2016年はファストフード、テイクアウト、ホームデリバリー・ケータリング、交通機関、給食、西洋料理、東洋料理、エスニック料理、宿泊宴会場がプラスになると見込まれる。ハンバーガーの伸長によってプラスに転じるファストフードが、もっとも高い伸長率となる。その他、テイクアウトや西洋料理は2015年に続くプラスとなる。一方、縮小が続く料飲店が最も大幅なマイナスが見込まれるほか、近年、プラスが続いていたファミリーレストランと喫茶が一転して減少するとみられ、市場は33兆2,806億円と、微増にとどまると予想される。

市場成長率トップ10業態(2016年見込)

順位	業態	2016年見込	2015年比
1位	プレミアムハンバーガー	72億円	123.3%
2位	天井・天ぷら	259億円	121.3%

順位	業態	2016年見込	2015年比
3位	スキー場	306億円	117.2%
4位	とんかつ・かつ丼	444億円	116.4%
5位	ステーキ・ハンバーグレストラン	1,060億円	111.6%
6位	すき焼き・しゃぶしゃぶ	1,300億円	110.8%
7位	クイックパスタ・ピザ	99億円	110.0%
8位	ハンバーガー	5,968億円	109.1%
9位	フローズンヨーグルト	26億円	108.5%
10位	チャンボンFR (ファミリーレストラン)	434億円	108.2%

2016年は73業態で2015年比プラス成長が見込まれる。

成長率1位はプレミアムハンバーガーである。2015年に「シェイクシャック」がオープンしメディアで大きく取り上げられたことから1,000円以上の高価格帯ハンバーガーに注目が集まり、市場が急拡大し始めた。プレミアムハンバーガー市場は今後も拡大が予想される。

2位の天井・天ぷらは、2014年以降大幅な市場拡大が続いており、上位チェーンの新規出店が進んでいる。また、既存店も好調となっているほか、「てんや」では“ちょい飲み需要”を獲得するなど、前年に続き大幅な拡大が見込まれる。

3位のスキー場は、2015年暖冬による深刻な雪不足から営業期間を短縮するなど施設の運営に困難が生じたことから縮小となったが、2016年は例年通りの運営に回復するほか、インバウンド需要の取り込みが進められることから市場の拡大が見込まれる。

#### <注目成長市場(138業態には含まない)>

##### 牛タン料理専門店

2015年	2014年比	2016年見込	2015年比
642億円	104.7%	659億円	102.6%

牛タン料理専門店は2011年頃から大手外食チェーンなどが関東や関西を中心に参入しはじめたことで拡大が加速している。

2015年は上位チェーンが好調のほか、ねぎしフードサービスのメディア露出による客数増加が市場拡大の追い風となった。2016年は前年に引き続き上位チェーンが積極的な新規出店を進めていることに加え、メディア露出による認知度向上といったプラス要因もあり、市場は2015年比2.6%増の659億円が見込まれる。

##### 病者・高齢者食冷凍宅配

2015年	2014年比	2016年見込	2015年比
118億円	112.4%	157億円	133.1%

病者・高齢者食冷凍宅配は2012年に給食事業大手が参入し市場が拡大した。工場や倉庫から直接配送することができるため、調理・盛り付けや拠点となる店舗が不必要であるなど、従来の病者・高齢者食宅配と比べて採算性が高い事業となっていることから参入企業が増加している。

2015年は、病者・高齢者食宅配大手が冷凍宅配サービスを開始したほか、参入各社が好調だったことから市場は2014年比12.4%増の118億円となった。今後は常温弁当を提供する病者・高齢者食宅配への新規参入が一段落したこともあり、病者・高齢者食冷凍宅配市場への新規参入が増え、市場は活性化するとみられる。

##### シュラスコ料理専門店

2015年	2014年比	2016年見込	2015年比
60億円	113.2%	67億円	111.7%

シュラスコ料理専門店は2014年にブラジルワールドカップが開催され、ブラジル料理であるシュラスコ料理に注目が集まったことで参入企業が増加し市場は拡大した。

2015年はリオデジャネイロ五輪の開催を控え、シュラスコ料理の注目度がさらに高まり、新規出店を行う企業が多くみられたことで、市場は2014年比13.2%増の60億円となった。2016年はリオデジャネイロ五輪の開催のほかに、“肉ブーム”が追い風となり市場は2015年比11.7%増の67億円が見込まれる。

<調査対象>

No.1 収載業態		
1.ファストフード(21業態)	2.テイクアウト(16業態)	3.ホームデリバリー・ケータリング(8業態)
4.交通機関(5業態)	5.レジャー施設(10業態)	6.給食(7業態)
No.2 収載業態		
1.料飲店(10業態)	2.ファミリーレストラン(9業態)	3.喫茶(11業態)
4.西洋料理(12業態)	5.日本料理(14業態)	6.東洋料理(7業態)
7.エスニック料理(3業態)	8.宿泊宴会場(5業態)	
注目外食企業事例40社		
<リーディングカンパニー編>		
1.日清医療食品	2.エームサービス	3.プレナス
4.サザビーリーグ アイビーカンパニー	5.トリドール	6.松屋フーズ
7.富士産業	8.アトム	9.リンガーハット
10.物語コーポレーション	11.ハイデイ日高	12.フジオフードシステム
13.ニラックス	14.ドミノ・ピザジャパン	15.喜代村
16.サッポロライオン	17.鳥貴族	18.プロントコーポレーション
19.江戸ー	20.アーランドサービスホールディングス	21.甲羅
22.ペッパーフードサービス		
<ミドルステージカンパニー編>		
23.一蘭	24.シニアライフクリエイト	25.ひらまつ
26.ワンダーテーブル	27.ゆで太郎システム	28.麦の穂
29.ダイタンホールディングス	30.バルニバービ	31.ねぎしフードサービス
32.ゼネラル・オイスター	33.遠藤商事	34.ファンデリー
<アーリーステージカンパニー編>		
35.ゴリップ	36.日本ポップコーン	37.ベアード・ブルーイング
38.麦酒企画	39.原価率研究所	40.カールスジュニアジャパン
海外における外食産業		
<日系企業>		
1.一蘭	2.壱番屋	3.プレナス
4.ペッパーフードサービス		
<現地企業>		
1.S & Pシンジケート(タイ)	2.Charoen Pokphandグループ(タイ)	
注目成長市場		
1.牛タン料理専門店	2.シュラスコ料理専門店	3.病者・高齢者食冷凍宅配

<調査方法>

富士経済専門調査員による参入企業および関連企業・団体などへのヒアリングおよび関連文献調査、社内データベースを併用

<調査期間>

2016年7月~9月

以上

資料タイトル	: 「外食産業マーケティング便覧 2016 No.3」	
体裁	: A4判 499頁	
価格	: 書籍版 110,000円+税 PDF/データ版 120,000円+税 書籍版・PDF/データ版セット 140,000円+税 書籍版・ネットワークパッケージ版セット 220,000円+税	
発行所	: 株式会社 富士経済 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町1番5号 PMO日本橋江戸通 TEL: 03-3664-5811(代) FAX: 03-3661-0165 URL: <a href="https://www.fuji-keizai.co.jp/">https://www.fuji-keizai.co.jp/</a> e-mail: <a href="mailto:info@fuji-keizai.co.jp">info@fuji-keizai.co.jp</a>	
調査・編集	: 東京マーケティング本部 第一部 TEL: 03-3664-5821 FAX: 03-3661-9514	
この情報はホームページでもご覧いただけます。 URL: <a href="http://www.group.fuji-keizai.co.jp/">http://www.group.fuji-keizai.co.jp/</a>		